

科目名	障害者・障害児心理学			ナンバリング	PSY443	授業形態	講義
対象学年	2 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	山本佳子	担当教員					

授業の概要	各ライフステージごとの障害児（者）の心理的特徴や支援方を学ぶ ① 身体障害、知的障害及び精神障害の概要 ② 障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援						
到達目標	①身体障害、知的障害及び精神障害について概説できる。 ②障害者（児）の心理社会的課題及び必要な支援について説明できる。						
学習のアドバイス （勉強方法、履修に必要な予備知識など）	授業中に使用した専門用語については、各自、復習の中で調べ理解を深めておくこと。 学んだことは、今までの自分の考えと照合させ、矛盾や葛藤については各自考えを深めることで解決していくこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①身体障害、知的障害及び精神障害について知っている。 ②障害者（児）の心理社会的課題及び必要な支援について概要を説明できる。	①身体障害、知的障害及び精神障害について概説できる。 ②障害者（児）の心理社会的課題及び必要な支援について説明し、自らの意見を表明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
ミニテスト	○				○		30%
授業内レポート		○	○	○			30%
宿題・授業外レポート		○			○		30%
授業態度・授業への参加				○			10%

課題、評価のフィードバック	解答用紙は、要請があればいつでも開示できるよう準備しておく。
---------------	---------------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	当事者の立場に立つということ	当事者の事例を聞き、当事者の視点で、考えてみる。	
	第2回	身体障害について1	身体障害の定義・現状について説明し、問題点について考える。	
	第3回	身体障害について2	身体障害を持つ人たちが抱える心理的課題とその支援法について考える。	
	第4回	身体障害について3	身体障害を持つ人たちが抱える社会的課題とその支援にについて考える。	
	第5回	当事者たちの障害受容後の新しい生活	障害を抱えながら生きる人たちの事例をもとに、その生活について理解を深める。	
	第6回	知的障害について1	知的障害の定義・現状について説明し、問題点について考える。	
	第7回	知的障害について2	知的障害を持つ人たちが抱える心理的課題とその支援法について考える。	
	第8回	知的障害について3	知的障害を持つ人たちが抱える社会的課題とその支援にについて考える。	
	第9回	障害を取り巻く人々	家族の役割や課題、地域コミュニティの課題について事例から考える。	
	第10回	精神障害について1	精神障害の定義・現状について説明し、問題点について考える。	
	第11回	精神障害について2	精神障害を持つ人たちが抱える心理的課題とその支援法について考える。	
	第12回	精神障害について3	精神障害を持つ人たちが抱える社会的課題とその支援にについて考える。	
	第13回	発達障害について1	発達障害の定義・現状について説明し、問題点について考える。	
	第14回	発達障害について2	発達障害を持つ人たちが抱える心理社会的課題とその支援法について考える。	
	第15回	当事者研究の意義と働き	当事者の人たちの自らの生活改善の動きを知り、今後について考える。	
	試験	定期試験は実施せず、ミニテストを数回実施する。		
授業の進め方		講義とワークシート、ディスカッションで進める。		
授業外学習の指示		復習として、授業時のノートをまとめ、疑問点や専門用語については、自ら調べ補充しておく。 また、各時間のテーマについて要点をまとめて説明できるようにしておく。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	特に指定しない。
参考書	必要に応じて推薦する。
参考URLなど	
その他	